

# 平成19年度 甲南学園 事業計画書

## はじめに

学園を取り巻く状況は、「大学全入時代」の到来という厳しい環境にあります。これは、「競争の時代」であり、「淘汰の時代」ですが、本学園では、大きなもののみが生き残る時代ではなく、個性をもって適応するものが力を発揮し、発展する時代であるにとらえ、これまでも、専門職大学院の整備・充実、学部教育の活性化・質の向上、研究組織体制の整備・充実、さらには学生サービス・支援の充実など、「教学主導の学園運営」を基本に据えた多方面の取り組みと、これらを一層発展するための基盤を整えるべく、財政の健全化に取り組んでまいりました。

平成18年度には、「21世紀に輝く学園」づくりを目的とした平成22年度までの5箇年を対象とする中期経営計画を策定し、新学部構想、学園創立90周年・100周年に向けた記念募金事業計画の策定、各種教学プロジェクトの開始などの初年度の取り組みを着実に推進してきました。

中期経営計画2年目にあたる平成19年度は、「教育機関としての経営資源再配分」を主軸の課題に掲げ、平生精神のもと培ってきた「人物教育率先」の伝統を再活性化させることを基軸として、これまでの取組みの一層の展開を図るとともに、同計画に掲げる主要事業（西宮新キャンパス・新学部の開設準備に伴う学舎建設、理工学部の再編、学園創立90周年記念募金事業）を含め、以下の主要事業に取り組めます。

これらの取り組みを通じて、甲南の追求すべき平生の夢「甲南100年の計」の実現を目指し、量ではなく質を追うクオリティリーダーとして、個性溢れる学園づくりに努めてまいります。

## 1. 大学・大学院関係

### 1. 学部の再編・新設

#### (1) 理工学部の再編

平成20年4月開設を目指し、理工学部・情報システム工学科を母体とした知能情報学部の設置手続きおよび準備を進めます。また、理工学部物理学科においては、平成20年度に向け、教育の質の向上を図るための収容定員の削減と時代の要請に応えるためのコース再編に関する手続きおよび準備を進めます。さらに、平成21年度に向けて、先端生命工学研究所を母体にした新学部・新研究科設置、および既存理工学部の再編を行うべく、これらの検討・準備を進めます。

#### (2) 西宮新キャンパス・新学部の開設

平成21年4月開設を目指し、西宮新キャンパス建設工事に着工するとともに、同キャンパス新学部の検討・準備を進めます。

## 2. 教育事業

### (1) 学部教育充実のための多様な取り組み

基礎演習の整備・充実、習熟度別語学クラス編成、実務家による授業の拡充、チューター等を活用した個別指導による学習支援、e-learningコンテンツの充実と活用、遠隔講義システムの活用、ロースクールゼミ、会計プロフェッションコースの開設等の各種資格試

試験対策強化、アクティブスチューデントの育成等の多様な取り組みに加え、入学前教育、リメディアル授業、学修相談等の補完教育を充実させ、教育の質的向上を推進します。

## (2) 大学院教育充実のための多様な取り組み

設置基準の改正に伴い、教育目標を明確にするとともに、体系的なカリキュラムを編成し教育の実質化を進めます。社会科学研究科経済学専攻の社会人入試の導入に伴い、コース別カリキュラムを導入します。また、法科大学院においては、教育体制の点検・改善を図るとともに、修了生の新司法試験初回受験を支える機能的な体制作りを図り、会計大学院においては、エクスターンシップ、海外研修を実施、特別講師プログラムを充実させる等の公認会計士試験に対応した学習指導体制を強化します。

## (3) 自己点検・評価の公開、及びFD活動の推進

平成18年度に大学基準協会に提出した自己点検・評価の報告書を広く公開するとともに、平成19年度に法科大学院の同協会認証評価を受けるべく自己点検・評価作業を開始します。また、GPAの試行、授業評価アンケートの分析・運用方法の検討等、引き続き、FD活動を推進するとともに、特色のある教育の具現化を目指した「甲南GP」を実施する等の活動推進を図ります。

FD（ファカルティ・ディベロップメントの略）

教員の授業内容や教育方法などの改善・向上を目的とした組織的な取り組みの総称。

甲南GP

本学の特色として明確に打ち出せる教育改革の取り組みを教職員に募集し、優れたプランは、文部科学省の「現代GP」「特色GP」に応募するとともに、全学的な支援体制を整えて実行することを目的としています。

## (4) キャリア教育の推進

平成18年度に「現代GP」に採択された「価値創造のできる21世紀型教養人の育成プログラム」を実施し、平成19年度入学生を対象に各学部「ベーシック・キャリアデザイン科目」と「インターンシップ・ボランティア科目」等を開講します。

現代GP「現代的教育ニーズ取組支援プログラム（現代GP）」

文部科学省が各大学からの応募を受け、学生教育の質の向上などの大学教育改革の取組を選定し、財政的なサポートや幅広い情報提供を行い、各大学などでの教育改革の取組を促進することを目的としています。

## (5) 留学支援プログラムの推進

「甲南プログレス・プロジェクト」の拡充を図り、「インターンシッププログラム」や「ボランティアワーク」等を組み合わせた新たなプログラムを開始します。また、引き続き、カリキュラムの改正、英語集中コースの開設、受入留学生との交流を講義レベルで行う「ジョイントセミナー」を実施し、留学を実現するためのサポートと本学学生と受入留学生との積極的な交流を図ります。

甲南プログレス・プロジェクト

多様化する国際化社会において、国際人としての素養を身につけ、豊かな人格形成を実現するため、ユニークなプログラムを海外の大学と共同で開発し、年間100名の学生を海外の大学を送り出すプログラム

### (6) 学修支援の推進

成績の芳しくない学生への対応と履修指導の強化、受講関係書類の改良、インフォメーションと履修登録システム等を統合的なサービスとして展開できるシステムの構築、一部講義室の AV 機器更新、出欠管理システムの対象授業の拡大等を図ります。

### (7) スポーツ強化支援

教育の質的向上につながるスポーツ教育力の強化を目指し、総合的なスポーツ強化支援策を実施します。

## 3. 研究事業

### (1) 私立大学学術研究高度化推進事業等の展開

文部科学省学術フロンティア推進事業、オープン・リサーチ・センター整備事業、社会連携研究推進事業等で採択された研究を継続するとともに、平生太郎基金を活用した研究拠点形成(甲南COE)や国際的な共同研究等にも積極的に取り組み、世界水準の研究活動の展開につながる取り組みを推進します。

#### 【私立大学学術研究高度化推進事業等の採択研究一覧】

(a)学術フロンティア推進事業 ・人間科学研究所「現代人の心の危機の総合研究」(平成15年度から5年間) ・先端生命工学研究所「有用な人工生命分子創製のためのテーラード・バイオケミストリー」 (平成16年度から5年間)
(b)オープン・リサーチ・センター整備事業 ・知的情報通信研究所「知的情報ネットワークによる地域密着型教育の高度情報化に関する研究」 (平成16年度から5年間) ・量子ナノテクノロジー研究所「ナノ構造システムにおける量子相関の研究」(平成17年度から5年間)
(c)社会連携研究推進事業 ・ビジネスイノベーション研究所「地域経済クラスター創造に向けての社会連携研究」 (平成17年度から5年間)

### (2) 先端生命工学研究所の研究活動の推進

ナノバイオ分野における研究連携拠点として、更なる高度の研究活動を展開するとともに、この高度な研究機能がリードする新学部・新研究科設置へ向け動き出します。

### (3) 研究支援体制の強化

科学研究費補助金を始めとする研究開発事業に係る各種助成金の積極的獲得を図るとともに、平成18年度に発行した「研究シーズ集」等を活用した研究成果のPR活動を行い、研究活動の活性化と充実を推進します。

### (4) 知的財産管理体制の構築

平成18年度に制定した「甲南大学知的財産ポリシー」「甲南大学発明規程」の周知、浸透に努め、知的財産管理体制を構築します。

#### 4. 学生支援事業

##### (1) 学生生活の活性化

優秀な学生への各種給付制奨学制度や留学、教職等を目指す者に対する目的別貸与制奨学制度、優秀者の表彰制度等を拡充し、学生のモチベーションの高揚と目標の達成を支援します。

##### (2) 進路支援体制の強化

「学生一人ひとりの個性と能力にあった進路選択」を念頭に、就職スキルのレベル向上に留まるのではなく、人間力向上を目標に、学部の専門科目として開講する正課科目とキャリアセンターが行う正課外教育を体系化し、キャリア支援の充実・発展を図ります。

##### (3) 教員志望者への支援

教職教育センター内に教職課程図書室、相談コーナーを設置、教職講演会、教員採用試験に向けた特別プログラム、OB・OG 教諭との交流会等を実施、採用情報の収集と提供を積極的に行い、社会において、人物教育の担い手となる甲南出身教員を育てるべく、卒業生も含めた教員志望者への進路支援を展開します。

##### (4) 保護者の方々との協力関係の構築

父母の会との連携強化を図るとともに、学生生活の理解と関心を深めていただくことを目的とした「教育懇談会」の開催数の増加と地域の拡大を図り、保護者の方々との協力関係構築に努めます。

#### 5. 社会連携・貢献事業

##### (1) 地域貢献の推進

神戸市東灘区をはじめとする地域との各種連携協定に基づき、まちづくりの推進、教育・文化の振興等の事業に取り組みます。また、文学部を中心とした「地域連携プロジェクト」の展開、図書館・サイバーライブラリの地域公開利用、スポーツ・健康科学教育研究センターによる地域住民を対象とした体力測定等に取り組みます。

###### 地域連携プロジェクト

本学の教育理念と本学が立地する地域ニーズを背景として、神戸市東部～芦屋市や西宮市にまたがる阪神間文化圏における「新たなコミュニティの創生」に学生、教職員がともにかかわりながら、大学が地域とコミュニケーションする教育プログラム。

##### (2) 生涯学習の支援

社会人講座、各種シンポジウム、公開講座、「ひょうごオープンカレッジ」、ジュニアスポーツ教室等を通じて、生涯学習の機会を社会・地域に提供します。

##### (3) 産官学連携の推進

フロンティア研究推進機構において、引き続き、産・官と連携し、受託・共同研究や技術相談等の本学の知的財産を広く社会のために活用するための事業を推進します。

##### (4) 高大連携の推進

SPP 事業、連携授業、出張講義や体験型実験教室等による高大連携事業を推進します。

###### SPP 事業「サイエンス・パートナーシップ・プログラムの略」

日本科学技術推進機構が、児童生徒の科学技術、理科・数学（算数）に対する興味・関心と知的探究心等を育成することを目的に、学校、教育委員会等管理機関と、大学・科学館等との連携を推進するための事業。

## 6. 環境整備事業

### (1) 研究施設安全管理の強化

研究施設の安全管理を徹底するためのシステム強化や内規の整備を進めます。また、現在は使用されていない放射線発生装置を廃棄し、放射線管理区域の解除を行います。

### (2) 情報インフラ整備の推進

語学教育環境の充実、教育研究活動を支える情報環境を提供維持するために、新情報教育システムの構築、マルチメディア教育システムの維持更新を図ります。また、教育・学習環境の改善を目的とした学内 LAN の見直しを図り、セキュリティー対策として、外部から持ち込まれたパソコンの検疫システムを導入します。

### (3) 自動証明書発行機の更新

個人情報保護の強化、現金決済による利便性の向上を図るために、現行機種 of 更新を図ります。また、卒業生成績情報をイメージ管理に移行させ、卒業生に対する成績証明書発行業務の一元化を進めます。

### (4) キャンパス内全面禁煙の取り組み推進

学生の健康増進を図るため、平成 18 年度からスタートしたキャンパス内全面禁煙を引き続き実施し、同時にマナーアップを図る取り組みを推進します。

## 7. 学生募集・入試に係る各種事業

### (1) 学生募集活動の強化と入試制度の検討

本学志願者の増加傾向の維持向上を図るべく、高校生対象の説明会に加え、高等学校教員を対象にした説明会等を実施し、学生募集活動を強化します。また、経営学部における商業科高等学校 AO 入試導入に関する検討を進めます。

### (2) 指定校推薦入試の推薦依頼校との交流

指定校推薦入試の推薦依頼校との交流を強化するとともに、推薦入学者の入学前教育体制を強化します。

### (3) 大学院入試制度の多様化

社会科学研究科で学内推薦入学試験の複数回実施を検討し、専門職大学院では入学試験の時期、内容等の見直しを図ります。また、多種多様な説明会を実施、ホームページを活用したリアルタイムな情報提供等を行い、募集活動を強化します。

## ・高等学校・中学校

### 1．教育事業

#### (1) 中高6年一貫教育システムの構築

甲南大学、そして世界の大学を目指す中高6年一貫(2-2-2、基礎・応用・発展)の教育システムを構築するために、人間力・対話力の充実に向けた日本語・国際語の言語運用能力の養成強化、キャリア・ビジョン養成のための「キャリアリサーチ」科目の充実、進路選択にかかわるコース再編、国際交流活動の充実を図ります。

#### (2) 甲南一貫教育の実現

平生精神をバックボーンとする甲南一貫教育を実現するために、OBや学年を超えた学友たちとの豊かな人脈形成、中高大連携講座やe-learningによる高大連携講義の充実、甲南小学校との連携強化、高等学校入試の見直しを図ります。

#### (3) 伝統に根ざすイノベーションを実現する体制

アドバイザリ・コミッティと連携し、教員組織活性化のための組織・人員体制の強化や教員研修制度の充実を図ります。

### 2．学習活動・学校生活支援事業

学力向上を目指した日常の学習意欲喚起の体制を構築するため、7限授業の導入、学習センターでの学習支援の充実、メールマガジンやe-learningを活用した家庭学習との連携や海外提携校とのクラブ間交流を推進します。

### 3．環境整備事業

#### (1) 情報環境の整備

e-learningによる中高大連携授業の充実のために、情報環境の整備を図ります。

#### (2) スポーツ施設・設備の整備

徳・体力増進を目的とした新体育館施設を検討し、スポーツ施設・設備の整備を推進します。

## ．法人

### 1．学園創立90周年記念募金事業の推進

平成18年度に開始した学園創立90周年記念募金事業を展開し、創立者平生鈆三郎記念教育振興事業、六甲アイランド総合体育施設整備事業、高等学校・中学校新体育館整備事業を推進します。

### 2．管理運営・財政

#### (1) ガバナンスの強化

改革をスピーディーかつダイナミックに対応できる学園運営体制を強化するために、組織的、制度的な基盤の整備を検討します。

#### (2) 危機管理体制の構築

学園内で想定される危機の防止に努め学園の信頼を守り高めるために、有事に備えたより強固な危機管理体制を構築します。

#### (3) 専任職員研修体系の再構築

職階別研修体系から、カリキュラム制による体系化を図り、力量の向上を図ります。

#### (4) 施設設備の適正管理

ファシリティマネジメントにより施設設備を適正な状況に保つとともに、セキュリティー対策を推進し、安全・安心・快適な環境整備に取り組みます。また、固定資産管理、施設の合理的な一元管理等を図り、管理部門の活性化を図ります。

#### (5) 健全な財務運営

引き続き、資金力を生かせる財務構造の確立を継続的に推進するとともに、健全財政のマネジメント基準を基本としながらも、必要に応じて瞬発力を発揮する財務運営を行い、財務情報の開示に努めます。

#### (6) ネットワークキャンパス東京の移転及び首都圏活動の強化

「ネットワークキャンパス東京」を東京駅に直結した「サピアタワー」(本年3月竣工35階)の大学専用フロアーに移転し、首都圏での活動を一段と強化し甲南学園の存在感を顕在化させます。

#### (7) フランス甲南学園第二次創成計画アクションプランの推進

フランス甲南学園と一体となって「第二次創成計画アクションプラン」を新体制のもとで推進し、その再生を図ります。

### 3．広報活動・卒業生との連携事業

#### (1) 広報活動の充実・強化

新学部や高等学校・中学校新教育システム等を軸に、戦略的な広報活動を展開します。また、創立者平生鈆三郎の日記の公開に向けた作業を進めます。

#### (2) 卒業生との連携強化

同窓会、各地甲南会との連携強化を図るとともに、同窓生とのネットワーク強化、卒業生の学園への理解を深めていただくことを目的に「オール甲南の集い」を開催します。また、学園の歴史の再発掘、顕著な活躍をした卒業生の顕彰のための委員会設置と卒業生に付与している電子メールの利用促進を検討します。